

2018 1/9

No.2058

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



三浦市の三浦海岸で、冬の風物詩「ダイコンの天日干し」が行われている。天日干し作業は2月中旬まで続く。



# 政経かながわ

2018 1/9 No.2058

## contents

### 視点・点描

年初にドビュッシーを

3

### 講演録

シンポジウム「2018年の動向を読む」

4

パネリスト 共同通信社外信部長 沢井 俊光  
共同通信社政治部長 小渕 敏郎  
共同通信社経済部長 東 隆行  
コーディネーター 神奈川新聞社論説主幹 林 義亮

### 政治

「2018年内政展望」

10

地方創生は正念場

### 国際

台頭する中国ネット企業

14

世界での優位性を分析

### 企業最前線

中堅企業もAIを積極活用

16

ベンチャーとの提携活発化

### 広告珍談

広告はたのしい⑮

18

港のシンボル

### NNAアジア経済リポート

19

### 事務局だより

#### ◇1月定例講演会

2018年1月22日（月）

午後1時30分～3時

横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズ5階「柏」

講師は東京大学名誉教授、時事放談キャスターの御厨貴さん  
演題は「明治150年後、平成30年後の政治を展望する」

#### ◇2月定例講演会

2018年2月8日（木）

富士ゼロックス神奈川と共に  
「第9回神奈川TOPセミナー」

#### ▽基調講演

午後3時30分～4時40分

講師はフィリップス・ジャパン代表取締役社長、フィリップス・レスピロニクス合同会社職務執行者社長の堤浩幸さん  
演題は「IoT時代の企業競争力とリーダーシップ～第4次産業革命を乗り切る」

#### ▽特別講演

午後4時50分～5時50分

講師は元プロ野球選手、スポーツコメントーターの山崎武司さん  
演題は「人は変われる！27年の野球人生から見た『リーダーシップと人財育成術』」

ともにホテルニューグランド「レインボーボールルーム」  
▽懇親会 神奈川情報交流会  
午後6時～7時30分  
ホテルニューグランド「ペリー来航の間」

# 視点



## 年初にドビュッシーを

2018年はフランスの作曲家クロード・ドビュッシー（1862～1918年）の没後100年にあたる年です。音楽にさほど親しみがない方には「それが何か」と言われてしまうかもしれません。が、交響詩「海」や「牧神の午後への前奏曲」などの代表作を聴いていただくと、新しい時代を感じることができます。そう、

1世紀も前の音楽なのに、今もなお新しいのです。それまでの機能和声から解き放たれて音楽の自由を切り開いた作曲家といわれています。音楽技法のうんちくなどさておいて、海原にきらめく光や緑の園が脳裏にはつきり浮かぶような曲です。

音楽評論家の吉田秀和さんは、

ト、ベートーベンにあり「あとは、おまけみたいなものだ」という考えがどうしてもぬけないのである」と著書で語っています。そんな吉田さんが「あの三人から最も独立した芸術をつくるのに成功した天才」の一人として挙げたのが、ドビュッシーです。ジャズやポップスも含めて、20世紀で最も影響力のある作曲家といわれています。

ドビュッシーはまた、モネやゴッホら印象派の画家たちと同じく浮世絵にも傾倒しました。ジャポニズムに魅了された、日本とのつながりが深い作曲家です。年頭にこの人の名前を挙げたのには、2018年が新時代の幕開けになるのでは、という思いがあります。人工知能（AI）が躍進すれば生活や仕事のあり方そのものが変わります。宗教や民族、

時代ゆえに若者の安定志向が強まっているという調査結果もありますが、一方で驚くことに10代、20代の起業家が増えているのです。彼らの中から、既存の企業をしのぐ会社が生まれてくる可能性もあります。まるで戦国時代のようになります。残るのは、未来を生き抜く力を育める学校です。教育も変革を迫られています。

しかし、いかなる試練があろうとも、時代は着実に良い方向に進んでいます。情報化社会や科学、医学の進歩によって社会の豊かさは増しています。試しに、年の初めにドビュッシーを聴いてみてください。未来の明るい映像が見えてくるかもしれません。

（神奈川新聞社編集委員

丸山 孝）

## 港のシンボル

港町横浜だから、あちこちのミナトや橋や船について書く。年代はバラバラだけど。

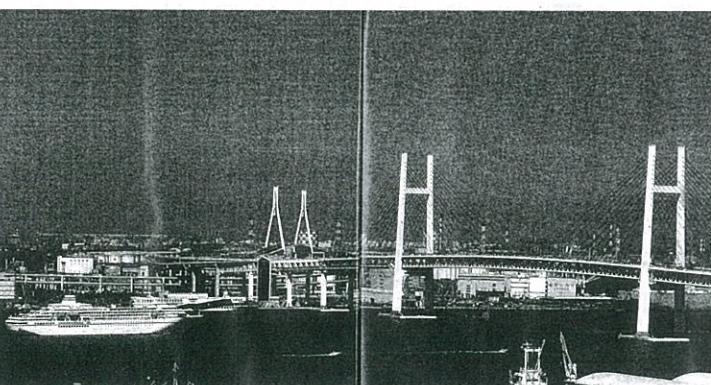
トニー・ベネットが歌う、霧のサンフランシスコ。金門湾に架けられた大きな橋「ゴールデン・ゲート・ブリッジ」。湾の上に架けられた、ベイ・ブリッジの代表例とされる。2層のデッキがある吊り橋、1936年に完成した。

ニューヨークの「ブルックリン橋」も吊り橋、1883年に完成。シドニーの「ハーバーブリッジ」は長さ503メートルのアーチ橋。32年の完成。ロンドンの「タワー・ブリッジ」、堂々とした左の搭から架けられた80メートルの可動橋、94年完成。パリのセーヌ河にかかる「ポン・ヌフ」は石造りで1606年完成。鉄橋の「ポ

ン・デ・ザール」は1804年。「ア

レクサンドル3世橋」は1900年、パリ万国博で完成。ポンの「フリードリ・エベルト橋」は67年完成。ドナウの真珠、ブタペストの「くさり橋」もみごとだ。

ぐつと逆のぼって14世紀。フィレンツエの「ポンテ・ベッキオ」は、石造りアーチ橋。橋の上には商店が並んでる。ベニチアの「リアルト回廊橋」も屋根つきで16世紀末に完成。エツフェル塔を設計したギュスター・エツフェルは、フランスのガラビに水道橋を設計した。クルマも人も通れないけど。



(図) 横浜ベイ・ブリッジと鶴見づばさ橋。写真家・浜口タカシ写真集『横浜二橋物語』より。神奈川新聞・かなしん出版発行 (タテ線は写真集の折り目)

徳島県の小鳴門橋も吊り橋で長さ441メートル。神戸大橋はダブル・デッキで長さ322メートル。まだ名橋はあるけれど。このあたりで。

世界中の橋、用材も構造もことなることはいうまでもない。それがその地の名所であり、その地を広告しているのである。

メートルの主塔2基から、何本ものワイヤーで吊られた斜張橋。しゃちょうきょう。大黒埠頭からの「スカイ・ウォーク展望台」の眺めがすばらしい。海面からの高さは55メートル。QE2も通過できた。完成したころ、ダブル・デッキでは世界一だった。そうだが、いまはどうか知らない。もうひとつは「鶴見づばさ橋」。大黒埠頭と扇島をむすぶ長さ1020メートル。1層の斜張橋では世界一だったそうだが、その後、どうか知らない。

(美術工セイスト、茅ヶ崎市在住)

となると、横浜はどうか。「横浜ベイ・ブリッジ」は本牧埠頭と大黒埠頭をむすぶダブル・デッキ。上には首都高速道路、下には国道375号線が走る。高さ175メートルの主塔2基から、何本ものワイヤーで吊られた斜張橋。しゃちょうきょう。大黒埠頭からの「スカイ・ウォーク展望台」の眺めがすばらしい。海面からの高さは55メートル。QE2も通過できた。完成したころ、ダブル・デッキでは世界一だった。そうだが、いまはどうか知らない。もうひとつは「鶴見づばさ橋」。大黒埠頭と扇島をむすぶ長さ1020メートル。1層の斜張橋では世界一だったそうだが、その後、どうか知らない。

(美術工セイスト、茅ヶ崎市在住)

(図) 横浜ベイ・ブリッジと鶴見づばさ橋。写真家・浜口タカシ写真集『横浜二橋物語』より。神奈川新聞・かなしん出版発行 (タテ線は写真集の折り目)